

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和6年11月29日				
放課後等デイサービスひまわり島田金谷校						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・身体を動かす、宿題をする、製作をする、リラックスをするスペースなど4つに分けて活動している。 ・個に応じた外出を心がけている。 ・学習やPC支援等、静かさの必要な支援には相談室の一部を使用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・児童福祉法に基づいた職員数を配置している。 ・個別対応が必要なご利用児に関しては個別対応を心掛けている。 ・児童1.4：職員1（令和5年10月）	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・スペースを広く使えるよう工夫している。 ・家具や柱には緩衝材を巻き、けが予防に努めている。 ・ピクトグラム等、視覚支援を意識した環境づくりをしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・定期的に事務室・フロア・バックヤードの整理整頓を行うなど、環境整備を心がけている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・宿題や体調不良時等に使えるスペースが確保され、状況に応じて使用されている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・モニタリング、支援会議に出席し、意見交換をしている。必要時は関係機関にも出席している。 ・職員同士、意見交換の場を持っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者向け評価表にてアンケートを実施し、職員間で意見交換をし、保護者の意向を把握しながら業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・カンファレンス時や利用児のいない時間等に職員の意見交換の場を設け、業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・外部評価の機会を持ち、業務改善に繋げたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・様々な研修を提示し参加を促している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援計画書作成は保護者と職員、相談支援事業所からの聞き取りをもとに作成し、半年ごとの面談を経てその時々のご利用児に合わせた内容を提供し、ご利用児の状況によって変更、改善に繋げている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・定期的に面談をしている他、個に応じて適宜保護者の意見を聞く場面を設けており、支援計画書に反映させている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・定期的なカンファレンスや普段のミーティングを通じて、職員と情報を共有し、支援計画書作成に反映させている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援計画書に全職員が目を通すことで、計画に沿った支援を行うことができている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・発達検査等の結果を共有させていただく中で、支援に活用している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・支援計画書には児童発達支援ガイドラインの「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」についても記載され、具体的な支援内容が設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・ミーティングにて話し合い、決定している。 ・話し合った内容を記録し、全職員が共有できるようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・地域交流には外部との連携を持ちながら積極的に参加している。 ・季節ごとに様々なプログラムを用意している。 ・固定化する利点もあるため、臨機応変に対応している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・利用児の特性に合わせ、日々の状況も考慮した上で支援している。 ・毎月の予定表で集団活動と個別活動を組み合わせた計画を提示している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼と昼礼で情報共有し、職員間の共通理解に努めている。 ・今後も継続していく。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・ケース記録を記入することで、職員間で情報共有している。 ・申し送り時は必ずメモ等を取り、次回に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・必ず当日利用児のケース記録を残し、適宜目を通すことで支援の改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・相談支援事業所と連携し、定期的にモニタリングを行っている。 ・保護者とも半年ごとに面談を行い、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		①自立支援と日常生活の充実のための活動 ②創作活動 ③地域交流の機会の提供 ④余暇の提供 などを複数組み合わせた支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・こどもが様々な事を考えながら自己選択、自己決定する時間を意識的に作り、こどもが大人に見守られているという安心感の中で体験できる機会を持っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が参加しており、会議の内容をカンファレンス等を通して職員に共有することができている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・こどもの事故やケガ、健康状態の急変が生じた場合に備え、近くに協力医療機関を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校と情報を共有し、密に連絡を取り合っ て学校行事や下校時刻、送迎時の対応について適切に行っている。 ・必要時は学校と面談したり、相談支援事業所とも相談し、連携して支援に当たっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・児童発達支援事業所と連携を取り、面談等で情報共有し相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		・障害福祉サービス事業所からの希望に応じて情報提供の体制は整えているが、前年度卒業生に該当者はいなかった。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・サービス担当者会議に児童発達支援管理責任者が出席し、内容を職員会議等で職員に共有することができている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・長期休暇等に地域の放課後児童クラブのこども達と活動したり、他のこどもたちも集まる施設に遊びに行ったりしている。	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・児童発達支援管理責任者が出席し、内容を職員間で共有している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎回連絡ノートでその日の様子を家庭に伝えている他、おたより等でもこどもの発達の状況等を伝えている。 ・家庭や学校での様子も、普段から相談し合えるような関係作りに努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者会で保護者支援に関する内容を取り入れた。今後も行っていきたい。	・ペアレント・トレーニングの研修等に参加し、実践していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・見学时や入所時に管理者から保護者に向けて書類をもとに丁寧に説明をしている他、随時質問等も受け付け、迅速な回答を心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・支援計画書作成は必ず保護者と児童発達支援管理責任者が面談をし、家庭や学校での様子をもとにこどもや家族の意向を確認しながら作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・支援計画書に記載の支援内容の説明を行い、保護者から支援計画の同意を得て支援に当たっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的な面談で家庭の様子を聞いている他、状況に応じて電話等でも保護者からの相談を受けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○		・毎年1～2回、保護者会やクリスマス会など保護者も参加できる機会を設け、普段の活動の様子を発表したり、親子でゲームを楽しんだり、保護者同士で交流している。 ・今後も保護者同士で交流できる機会を設けていきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・前年度、今年度も保護者からの苦情は無し。 ・連絡ノートや電話等で随時相談を受け付けており、また、普段から密に家庭と連携を取ることで、相談しやすい関係作りに努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月1回、活動内容の分かるお便りを発行している。おたよりは今後も続けていきたい。 ・次月の情報をオンラインで発信している。 ・長期休暇の予定は保護者会にて発信している。 ・「ひまわり」全体のInstagramで、校舎の活動を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・職員には個人情報の取り扱い誓約書に署名していただき、同意を得ている。個人情報取り扱いに関する規定を定めている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードや写真カードを使い、視覚支援を行っている。 ・連絡ノートを使って、家庭と情報を共有している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域の就労継続支援B型事業所への見学・交流を行った。今後も定期的な交流を続けていきたい。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・社内外の研修、訓練を実施している。 ・各マニュアルを作成し、保護会やお便りを通じて保護者への周知に努めている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎年作成した防災計画に基づき、非常災害の発生に備えて避難訓練を行うほか、長期休暇のお出掛け等で防災センターや消防署を見学するなどして、職員やご利用児の防災意識を高め、おたよりや記録に残している。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・服薬のある場合は、事前に書類を提示してもらうなど、保護者に伝えて対応している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	・現在該当者なし。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・事業所等の設備の安全点検の実施や散歩等の事業所外活動時や車両による送迎における運行時、安全確保に注意しながら支援を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		避難訓練等の安全確保に関しては行っているが、保護者への計画の周知に関してはまだ不十分なため、今後伝えていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットを作成後、打ち合わせで全員に周知している。 ・対策はカンファレンス等において話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・社内研修をすることで、職員間で情報共有をしている。 ・市で行われている研修に積極的に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・今年度は該当者がいないが、身体拘束を行う場合の条件を前もって決めてあり、保護者に事前に説明するようにしている。個別支援計画書にも記載することになっている。 ・やむを得ず行う場合でも、必ず記録に残すようにしている。	